



おいほま

(家庭数配付) 発行：令和5年3月1日

学びに遅すぎるといえることはない—伊能 忠敬(いのう ただたか)の偉業から—

校長 佐藤 隆弘

皆さんは、千葉県で生まれた伊能忠敬という人を知っていますか。九十九里で生まれ、佐原に住まいをもって名主となり隠居してから第二の人生をスタートさせた人です。

51歳にして20歳年下の先生の弟子に

51歳となった伊能忠敬は、当時天文学の第一人者である高橋至時(よしとき)の門下生となりました。伊能忠敬より20歳も若い高橋至時に弟子入りしたわけです。儒教精神から年上は敬われ、メンツを何より重んじる封建社会ですから、普通の人なら、20歳も年下の若造に頭を下げて弟子入りを請うことに抵抗があったことでしょう。しかし、伊能忠敬は違いました。そんなプライドよりも知的な好奇心、向学心のほうが勝っていたのです。入門当初、高橋至時は伊能忠敬の入門を“年寄りの道楽”だと思っていたそうです。しかし、昼夜を問わず猛勉強している伊能忠敬の姿を見て、彼を“垂歩先生”(すいほ＝星の動きを測ること)と呼ぶようにまでなり、二人は尊敬し合う仲になったということです。

55歳で測量に出発

1800年、伊能忠敬55歳の時、江戸を出発。測量の方法は、歩幅が一定になるように訓練し、数人で歩いて歩数の平均値を出し、距離を計算するというものでした。雨、風、雪をものともせず、海岸線の危険な場所でも果敢に測量を進めていったそうです。昼は測量、夜は宿で天体観測し、両者を比較しながら誤差を修正、各数値の集計作業に追われました。江戸にいた高橋至時は手紙を書いて伊能忠敬を励ましたそうです。伊能忠敬は3年間をかけて東日本の測量を終え江戸に戻りました。

地球の大きさを計算

江戸に戻った伊能忠敬は、本来の目的であった地球の大きさの計算に取り組みました。その結果を、後に高橋至時が入手したオランダの最新天文学書と照らし合わせると、ともに約4万 km で数値が一致し、子弟は手に手を取り合って歓喜したといえます。この時、伊能忠敬がはじき出した数値は、現在わかっている地球の外周と千分の一の誤差しかない正確なものだったのです。すごいことですよ。

日本地図の作成が国家事業に

その後、11代将軍家斉(いえなり)に東日本の地図を披露すると、続けて九州、四国を含めた西日本の地図を作成するようにと幕命が下りました。彼の測量はもはや個人的な仕事ではなく、多くの人の期待を担う正式な国家事業に変わったわけです。1805年(60歳)、再び江戸を出発しました。西日本の測量は、体力が衰え始めた伊能忠敬には過酷でした。予定の3年経っても九州には全く手付かずでした。このころ忠敬は、歯が1本になってしまい奈良漬も食べられないと娘への手紙の中で嘆いています。

15年以上かけて歩いた距離は4万 km (地球一周と同じ距離)

そして、1815年2月19日、伊能忠敬がすべての測量を終えた時には70歳になっていました。15年かけて歩いた距離は、実に4万 km、つまり地球を一周したことになるわけです。あとは各地の地図を一枚につなぎ合わせるだけでした。地球は球面なので、地図という平面に移す場合の数値の誤差を修正する計算までしています。しかし、すでに高齢になっていた伊能忠敬は肺を病んでしまい、そのまま回復することなく、1818年、73歳で没してしまいます。至時の息子である高橋景保(かげやす)や弟子たちは、彼の死を伏せて地図の完成を目指したそうです。1821年、江戸城大広間で、ついに日本最初の実測地図「大日本沿海輿地全図」が広げられました。

伊能忠敬の地図が日本を救う

1853年、ペリーが来航しました。アメリカは日本を植民地にしようとして江戸湾の測量を始めましたが、江戸湾の地形がシーボルトの著書「日本」に載っている地図(伊能忠敬の地図)と全く同じであることに気が付き、そのあまりにも正確な出来栄にびっくりして、「この国は、恐るべき技術を持った国であり、そう簡単には侵略できない」と判断し、測量をやめてしまったそうです。鎖国していた日本を西洋の知識人は未開の文明後進国だと決めつけていましたが、世界水準の正確な地図を持っていることに驚き、見下すことを改めたのです。この地図が外国からの侵略を防いだといっても過言ではありません。伊能忠敬の仕事は本当にすごいですね。

このように、人の学びに遅すぎるといえることはありません。私もこの3月末で役職定年を迎えますが、ここからの学びを大切にしていきたいと思っています。

3月4・5日には、イオンモール幕張新都心グランドコートで「みんなで歩こう伊能図展」が開催されます。興味ある生浜っ子は、ぜひご家族で出かけてみてください。

*6年球技メモリアルゲーム(2/16)

6年生からの強い希望により6年児童と教職員でサッカー、バスケットのメモリアルゲームを行いました。熱い応援の中で大人も子どももがんばる姿が多く見られました。



*学校支援地域本部事業 学校ボランティアの募集について

本年度も家庭科の調理実習や裁縫、ミシン学習の個別支援、書き初め作品掲示の環境整備において、ボランティアの方々にご協力をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。来年度も継続してご協力いただけたらと考えております。

つきましては、下記の学習・活動についてお手伝いのできる方を広く地域の方からも募集し、登録させていただきたいと思っております。お申込みいただいても活動日に都合が合わない場合もありますが、まずはご登録いただくことで、多くの方に関わっていただき、学校の教育活動をより豊かなものにしていきたいと考えています。

お申し込みをお待ちしています。

※問合せ先:教頭(264-7200)

【学習支援】

昔遊びの講師 彫刻刀学習の補助

ミシン学習の補助 新体力テストの補助 等

【環境整備支援】

側溝掃除 落ち葉はき プール清掃

書写や図工作品の掲示 等

【安全見守り支援】

セーフティウォッチャー活動

マラソン大会見守り いじめ防止推進 等

【保護者活動支援】

バザーの手伝い 等

*学校給食費・学校徴収金について

【第9期 3月27日(月)】

第9期分が残高不足等により口座振替ができなかった場合は、4月14日(金)に再振替を行います。会計処理等に支障がでますので、前日までに口座の預金残高の確認をお願いします。

学校給食費に関するお問い合わせ

保健体育課 電話 245-5909

学校徴収金に関するお問い合わせ

生浜小学校 電話 264-7200

*一年間ありがとうございました

今年度も本校教育活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様にはPTA理事の皆様をはじめ一世帯一役など様々な場面でお力添えをいただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。児童のより良い成長のため、今後ともご支援のほどよろしくをお願いします。

*セーフティウォッチャーさん大募集

この一年間、登下校を見守ってくださったセーフティウォッチャーの皆様、地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。子どもたちの安全な登下校のために、セーフティウォッチャーをしてくださる方はいらっしゃいませんか。毎日でなくても、週1回でも結構です。ぜひご協力をお願いします。お力を貸してくださる方は、学校までご連絡ください(264-7200)。登録は、随時受付しております。また、登録解除される方で、腕章をお持ちの方は、腕章の返却をお願いします。

*令和5年度 4月からの主な行事予定

- <4月> 6日(木)着任式・始業式
- 10日(月)入学式前日準備
- 11日(火)入学式 2~6年 8:50下校
- 12日(水)2~6年給食開始
- 19日(水)1年給食開始
- 21日(金)学校経営説明・学級懇談会
- <5月> 2日(火)お弁当の日
- 27日(土)運動会 28日(日)予備日
- 29日(月)振替休業
- <6月>16日(金)学習参観 14:25下校

令和5年3月吉日

生浜地区にお住まいの皆様

生浜小学校学校支援地域本部
地域コーディネーター 本間 武久
千葉市立生浜小学校
校長 佐藤 隆弘

< 令和5年度セーフティウォッチャー登録のお願い >

日頃より、地域並びに保護者の皆様によるセーフティウォッチ活動のおかげで、これまで子どもたちが大過なく生活を送っておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校では例年、地域のボランティアの皆様「学校セーフティウォッチャー」としてご登録いただき、登下校時に学校周辺での安全指導及び見守り活動をお願いしてきております。まもなく年度末を迎えるにあたり、次年度のセーフティウォッチ活動の計画づくりを進めているところです。

ご承知のとおり、子どもたちを取り巻く環境も変化し、交通事故ばかりではなく、不審者等による事件に巻き込まれる危険性も少なくない昨今です。学校では、子どもたちに繰り返し安全指導を行いつつ、セーフティウォッチ活動の強化を呼び掛けているところですが、今後もより多くの方々のお力添えを賜り、登下校時の子どもたちの安全確保の強化を図りたいと考えております。

標記の件につきまして、ご協力いただければ幸いです。お申出の際は、下記の用紙をご提出いただくか、電話にて生浜小学校（教頭）までお知らせください。後日、ご登録の案内をお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

生浜小学校 教頭 森生 美加
電話 264-7200

【セーフティウォッチャー活動について】

- (1) 実施予定日 ・週1日程度～毎日
※散歩の時間を合わせる、家の前に姿を見せる、児童の登下校に付き添う等、ご自身の生活時間の中の無理のない範囲で行っていただく形で結構です。また、毎日でなく、週1回、月に数回でも構いません。
・登校時（午前7時20分～午前7時55分頃に）
・下校時（午後2時30分～午後3時40分頃に）
※午前、午後のいずれかでも結構です。
- (2) 実施予定場所 ①学区の通学路 ②自宅周辺 ※いずれでも構いません。
- (3) 実施方法 ○児童の登下校時、ご登録いただいた場所を中心に児童の見守りを行う。
○不審者等を見かけたら、警察に通報・連絡をする。
○活動中にお気付きの点があれば、学校にご連絡ください。
(また、定期的な報告の義務はありません。)
- ※活動の参考として月初めに、下校時刻を記載した手紙と学校だよりを送らせていただきます。



キリトリ

<新規セーフティウォッチャー登録のお申し出票>

お名前 ()

ご住所 ()

お電話番号 ()

※ 個人情報適切に管理します。